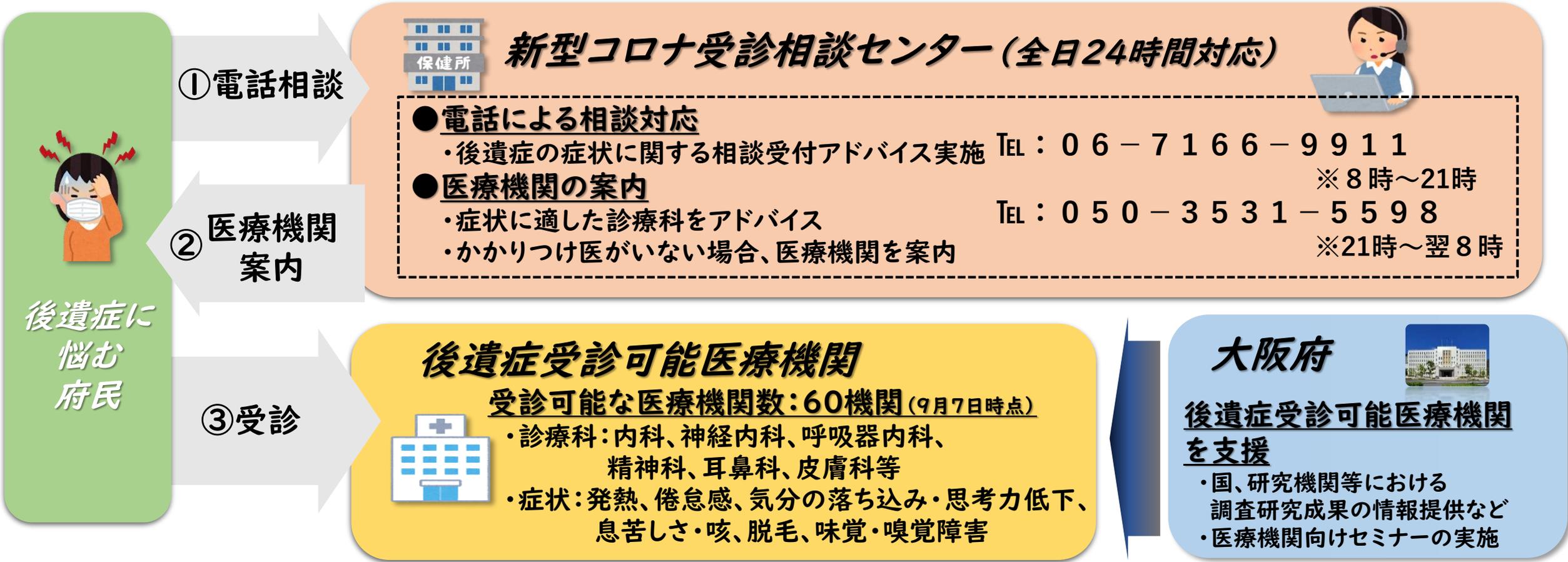


【新型コロナ受診相談センターにおける相談受付（令和3年7月8日開始）】



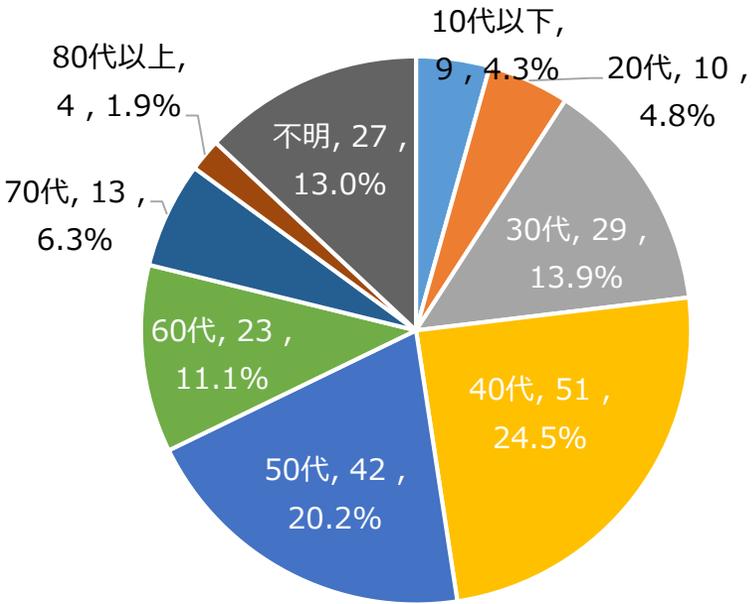
【医療機関等向け後遺症に関するセミナー】

- 目的：新型コロナウイルス感染症の後遺症の症状や発生頻度などについて医療機関で共有することで、各医療機関の後遺症の診療体制整備を図る。
- 講師：忽那賢志 大阪大学医学系研究科・医学部 感染制御学教授（大阪府新型コロナウイルス対策本部会議専門家会議構成員）
- 時期：10月上旬 動画・資料を府ホームページに掲載し、各医療機関・保健所、関係団体へ周知

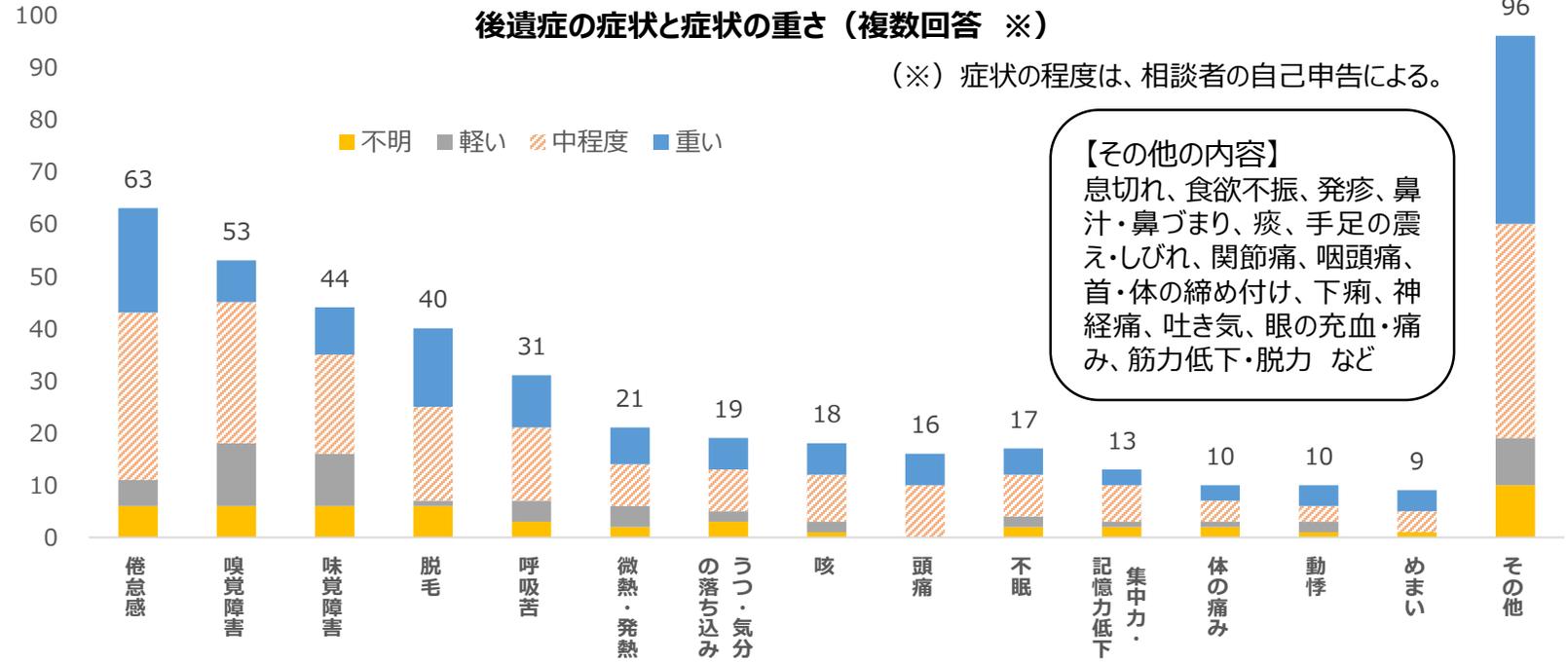
新型コロナ受診相談センター 年代別相談件数及び主な症状と重さ

- ◆各年代から後遺症の相談を受け付けている。
- ◆症状では、倦怠感が最も多く、嗅覚障害・味覚障害、脱毛が続く。

年代別相談件数（208件※）



後遺症の症状と症状の重さ（複数回答 ※）



【相談件数】

7月 282件（政令中核市含む）

8月 344件（政令中核市含む）

※8月は8/27時点

	倦怠感	嗅覚障害	味覚障害	脱毛	呼吸苦	微熱・発熱	うつ・気分の落ち込み	咳	頭痛	不眠	集中力・記憶力低下	体の痛み	動悸	めまい	その他	合計
重い	20	8	9	15	10	7	6	6	6	5	3	3	4	4	36	142
中程度	32	27	19	18	14	8	8	9	10	8	7	4	3	4	41	212
軽い	5	12	10	1	4	4	2	2	0	2	1	1	2	0	9	55
不明	6	6	6	6	3	2	3	1	0	2	2	2	1	1	10	51
	63	53	44	40	31	21	19	18	16	17	13	10	10	9	96	460

(※) 大阪府新型コロナ受診相談センターにおける相談件数（令和3年7月8日～31日）のうち、後遺症に関する具体的な相談を受理した208件